

豊川市 園児の食生活アンケート結果まとめ

- 1 目的 家庭での食生活の実態を把握して、保育園給食の献立作成や食事支援をするうえでの基礎資料とする。
- 2 実施時期 令和7年9月1日から30日
- 3 調査方法 あいち電子申請届出システムによる回答
- 4 回答数 1,027名（配布数2,333名 回収率44%）
豊川市内保育園に通う0歳から5歳児保護者

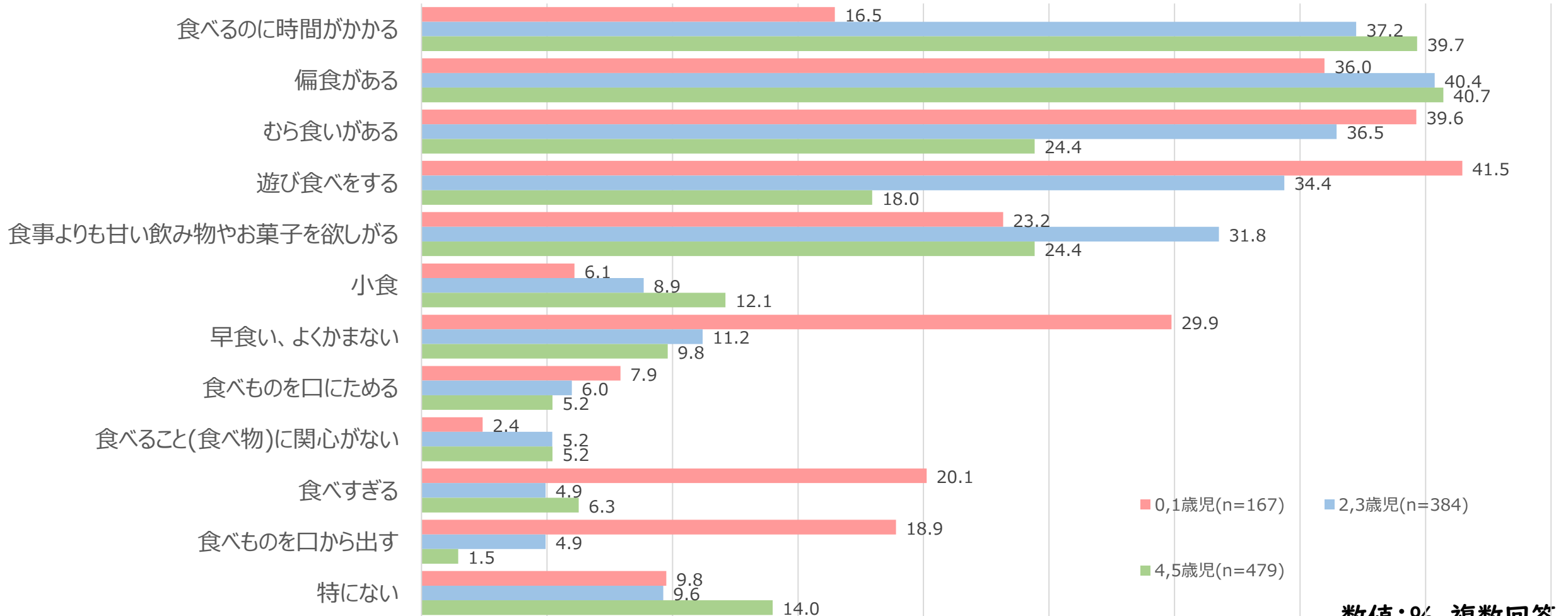


子どもの食事で困っていること

年齢によって項目が分かれる

「特にない」は1割程度→約9割の保護者は子どもの食事の困り感がある

食事で困っていること



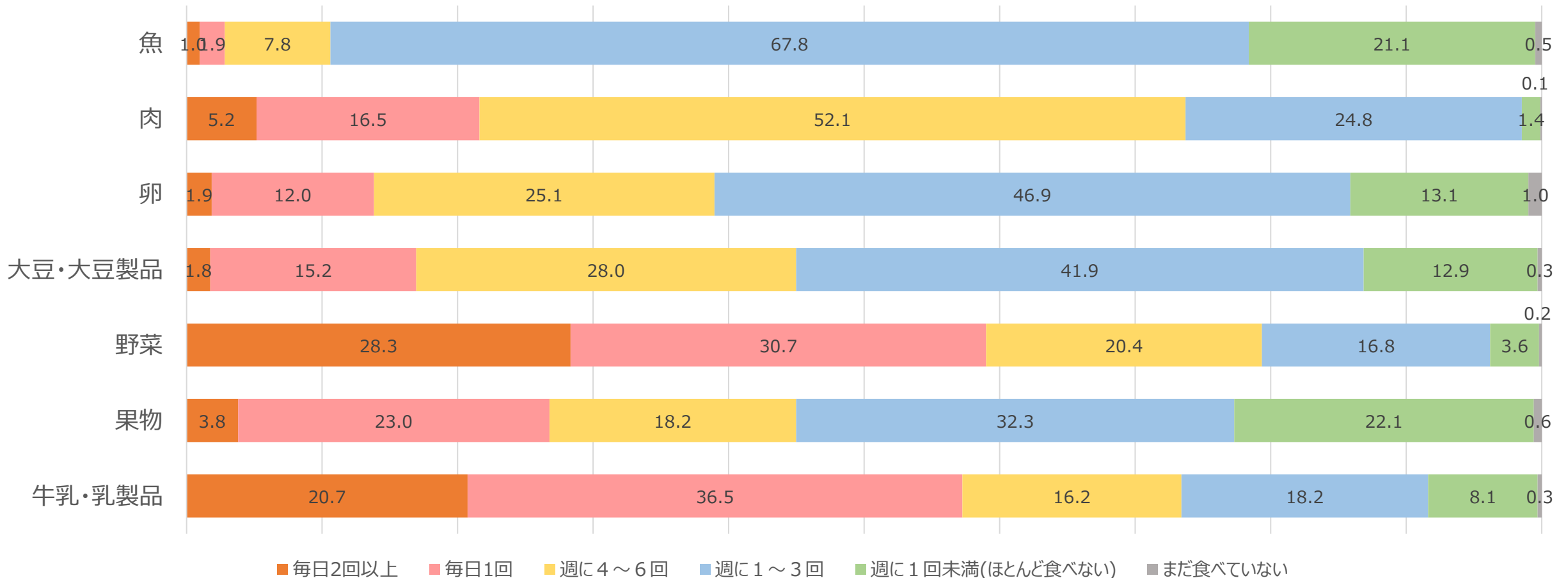
数値:%、複数回答

子どもの主要食物の摂取頻度

野菜、牛乳・乳製品は「毎日1回以上」が最も多かった。

肉は「週4～6回」、魚、卵、大豆・大豆製品、果物は「週1～3回」が多かった。

子どもの主要食物の摂取頻度

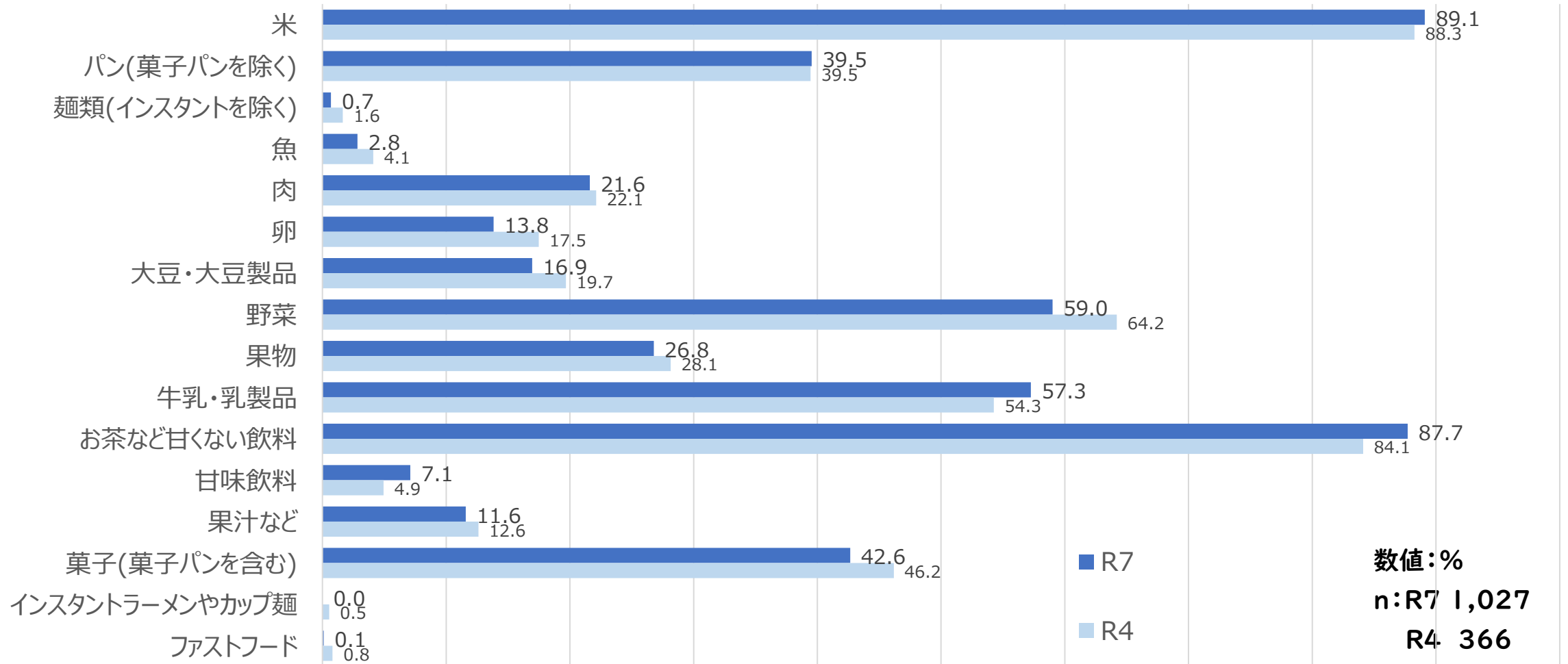


数値:%、n=1,027

食品群別 1日1回以上摂取する者の割合

穀類、野菜、牛乳・乳製品の摂取は多いが、その他食品の摂取は、2～3割程度にとどまっている。特に魚の摂取がほかの食品に比べ、少なく、前回調査時よりも減少している。

1日1回以上摂取する者の割合

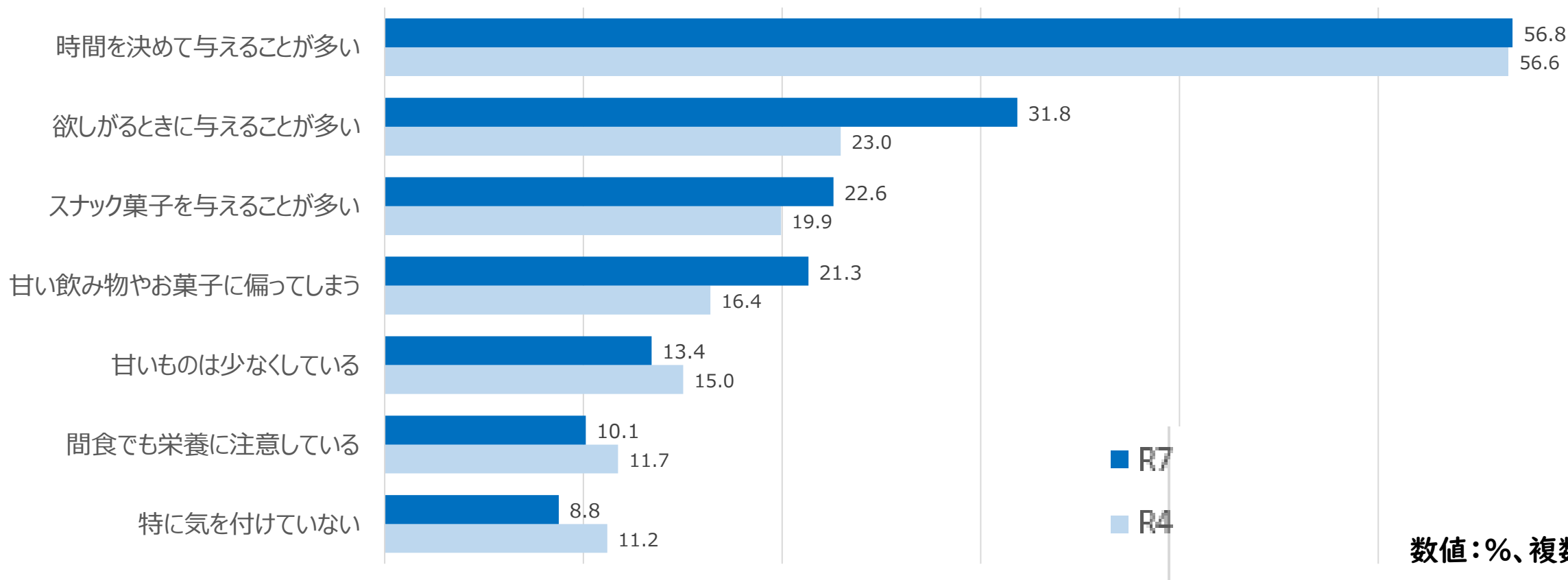


子どもの間食（3食以外の食べるもの）の与え方

「時間を決めてあげることが多い」が最も高かった。

→約4割は間食の時間を決めていない

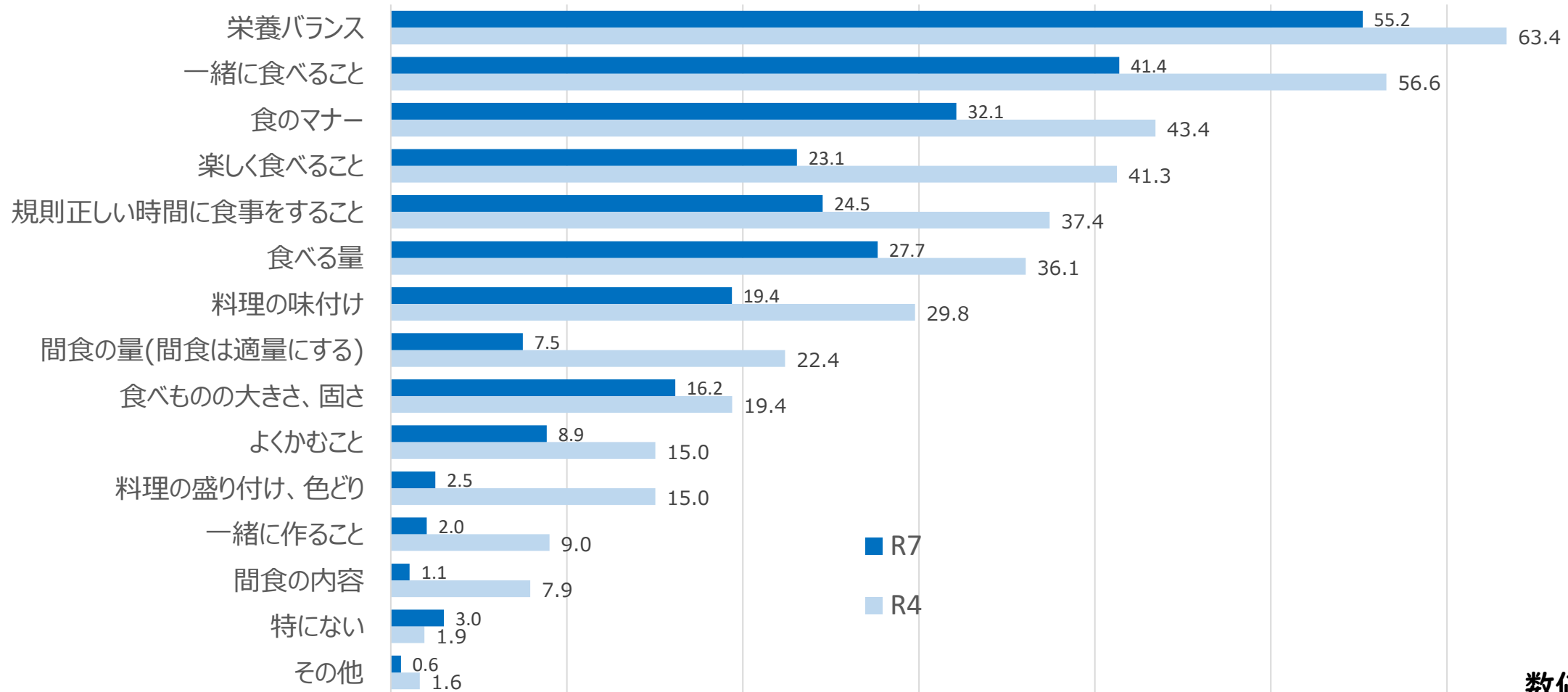
子どもの間食(3食以外の食べるもの)の与え方



子どもの食事で特に気を付けていること

0～5歳児すべての年齢で5割以上が「栄養バランス」に気を付けている。
また、前回調査時に比べてすべての項目について回答数が減少している。

子どもの食事で特に気を付けていること

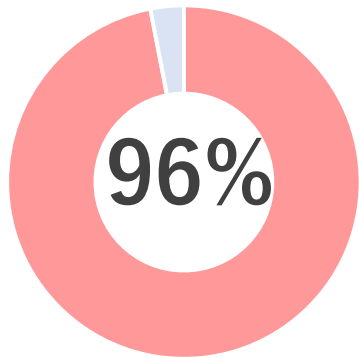


数値：%、複数回答

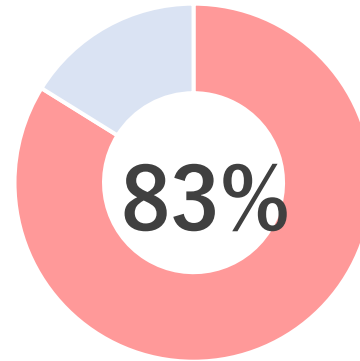
朝食・夕食を食べる習慣

9割以上の子どもは朝食を毎日食べていて、8割以上では家族の誰かと一緒に毎日朝食を食べていた。

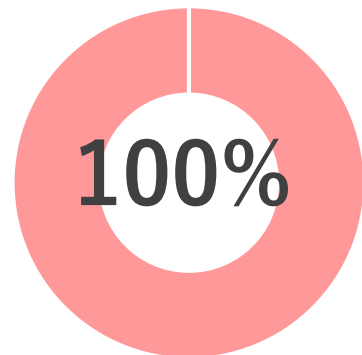
朝食をほぼ毎日食べる子の割合



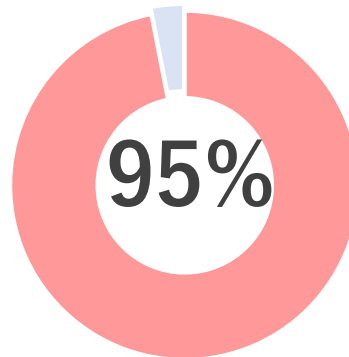
朝食を家族の誰かと食べる子の割合



夕食をほぼ毎日食べる子の割合

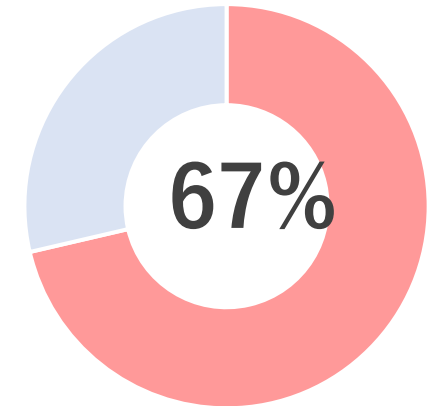


夕食を家族の誰かと食べる子の割合



毎日排便のある子

毎日排便のある子ども



2～5歳児では、3割程度で「週に2～3日に1回程度」排便があると回答していた。

まとめ

・献立作成

家庭での食事において、摂取頻度の少なかった魚は積極的に取入れていく。

カルシウム源(魚、乳製品、大豆製品)の食品の摂取頻度が少ないため、積極的に取入れていく。

家庭でも特に気を付けている項目の「栄養バランス、一緒に食べる、食事マナー、楽しく食べる」を重視した給食の提供に引き続き取り組んでいく。

・食事支援

食事で困りごとのある保護者は9割以上いたことから、園生活の中やおたよりで解決に向けた取組をしていく。